



2023年10月5日

各 位

会 社 名 株式会社オンワードホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 保元 道宣
(コード番号 8016 東証プライム)
問 合 せ 先 常務取締役 財務・経理・IR担当 佐藤 修
(TEL 03-4512-1030)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2023年7月6日に公表しました業績予想及び配当予想を下記のとおり修正致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 2024年2月期 通期(2023年3月1日~2024年2月29日)の連結業績予想数値の修正

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	188,800	10,000	9,000	5,000	36.84
今 回 修 正 予 想 (B)	189,211	11,022	10,012	5,462	40.25
増 減 額 (B-A)	411	1,022	1,012	462	-
増 減 率 (%)	0.2	10.2	11.2	9.2	-
※ (ご参考) 2023年2月期	176,072	5,214	5,319	3,061	22.57

2. 業績予想数値の修正の理由

当社は、通期の連結業績予想を上方修正します。その理由は、以下の通りです。

当第2四半期累計期間においては、顧客本位の商品開発と販売サービスの強化に努めた結果、23区、ペットパラダイスなどの主力ブランドが好調に推移し、KASHIYAMA (カシヤマ)、UNFILO (アンフィーロ) などの新規ブランドも大きく伸長しました。

OMOサービス「クリック&トライ」の利用拡大や、SNSを活用したマーケティング施策の精度が上がったことなどから、リアル店舗およびオンラインストアへの来客数が着実に増加しました。その結果、売上高が直近の予想を上回って伸長しました。

グローバル事業構造改革の成果が顕著に現れたことや、商品サプライチェーンの効率化が進んだことなどにより、売上総利益率が引き続き上昇しました。一方で、ブランド複合店舗の展開による販売効率の改善などにより、販管費率が大幅に低下しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の連結業績は、直近の予想を上回る進捗となりました。これを受けて、下期の業績予想を据え置いた上で、連結業績見通しを上方修正します。

3. 配当予想の修正

	年間配当金	
	期末	合計
前 回 予 想	円 銭 16.00	円 銭 16.00
今 回 修 正 予 想	円 銭 17.00	円 銭 17.00
前 期 実 績 (2 0 2 3 年 2 月 期)	円 銭 12.00	円 銭 12.00

4. 配当予想の修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置付け、配当性向の目安を 35%以上とし、安定的で業績に連動した適正な利益配分を実施することを配当方針としています。

今回、通期の連結当期純利益予想を上方修正することに伴い、当期の期末配当予想については、前期実績より 5円増配、前回予想より 1円増配の、1株につき 17円の配当予想に修正します。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において、当社が入手可能な情報に基づき判断して作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上